

# 宇都宮大学教育学部との SPP (サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト) 大盛況!



**7月4日(土)**、佐野高校および三杉川(イオンショッピングセンターの近く)で、宇都宮大学教育学部と連携したSPP活動が行われた。テーマは、「[県南の小河川「三杉川」に生息するカメの生態と移入種又マガエルの分布拡大の謎を探る]」佐高からは高校生11名、附属中1名。近隣の高校や中学校の生徒や先生、栃木両生爬虫類の会の関係者など、予想を大幅に上回る総勢40数名が集まった。



**講師**は、県立博物館の林さんと本校生物同好会のメンバー。生物室でレクチャーを行った後、バスで三杉川に移動し、前日仕掛けておいた13個のワナを引き上げた。もし、全く捕れてなかったら…。不安がよぎった。しかし、この日は大型のカメばかり9頭がかかっていた。しかも、1頭だけが再捕個体で、8頭は新顔である。計測とマーキング。生物同好会の腕の見せ所である。慣れた手つきでドリルを持つ姿は、まさに職人である。



**最後は**、林さんによるカエル調査。全員で、5分間で捕まえたカエルを水槽に集め、又マガエルがどれくらいの頻度で見つかるかを解明していく。単純な作業ではあるが、人海戦術で集まるデータの量はばかにならない。実は、こうした手法も野外調査では有効なのである。



こうして**大盛況**のうちに終わったが、次回のSPP(佐野高校企画)は、8月5日を予定している。カメ調査の第二弾であるが、今度はいよいよ、カメに発信器(1個4万円)を取り付けて、その行動を追跡する。超高校生レベルだが、期待は大きい。特に、興味のある1, 2年生の参加を待っている。

